

講義名	対) E - ビジネス				
担当教員	三浦 玉緒				
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4 時限		授業形態	講義	
履修開始年次	3 年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
E - ビジネスは、今後さらに進化することが予想されており、殆どすべての商業に影響を与えと言われています。今後も、デジタル革命は、社会や世界経済により大きな影響を与えと考えられています。新しいビジネス、市場の創造が期待される一方、進化し続ける情報技術の発展に伴い社会的なリスクにも対応が求められています。E - ビジネスを形成する技術、ビジネス、社会の観点から E - ビジネスを捉え、E - ビジネスを理解するための様々な枠組みを学びます。また、パソコンよりもスマートフォン、タブレットなどのモバイル機器からインターネットにアクセスするユーザーのほうが多いことから、モバイル E - ビジネスにも注目します。					
到達目標					
E - ビジネスを理解する基礎的な知識を身につける E - ビジネスの事例の課題と対策について、様々な枠組みを用いて説明することができる					
提出課題					
中間レポート課題、期末レポート課題を課します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック					
Ryuka Portal あるいは、講義内で教員からフィードバックを行います。					
評価の基準					
中間レポート課題 50%、期末レポート課題 50% 中間レポートの提出は、単位取得の必須条件とします。					
履修にあたっての注意・助言他					
経営戦略、マーケティングの基礎的な科目を履修していることが望ましい。日頃から新聞やニュースで取り上げられる E - ビジネスに関する話題に興味を持ち、わからない言葉は調べ、授業の内容に関連付けて理解することを心がけてください。状況次第で、授業の内容や順番を変更することがあります。					

教科書				
プリント資料及び参考文献				
K. C. Laudon and C. G. Traver (2019), E-commerce, business, technology, society., 15th Edition. 楠鎌 博 『eビジネスの教科書』(創成社, 2020) 奥谷 享司, 岩井 琢磨 『世界最先端のマーケティング』(日経BP社, 2018)				
授業計画				
1. E-ビジネスの概要 2. E-ビジネスのビジネスモデルとコンセプト 3. E-ビジネスを支える技術 4. E-ビジネスのサイトを構築する 5. E-ビジネスのセキュリティと支払いシステム 6. E-ビジネスのマーケティングと広告 7. ソーシャル、モバイル、ローカルマーケティング 8. E-ビジネスの倫理的、社会的、政治的問題 9. オンラインの小売りとサービス 10. オンラインコンテンツとメディア 11. ソーシャルネットワーク、オークション、ポータル 12. B2BのE-ビジネス、サプライチェーンマネジメントと協業 13. ケーススタディ(1) 14. ケーススタディ(2) 15. まとめ 状況によって、順番および内容を変更することがあります。				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
事前に資料がPDF等でRyuka Portalにアップロードされる場合は、各自でダウンロードし、次のテーマについて予習してください。 復習を行い、中間レポート課題、期末レポート課題に備えてください。 毎回の予習・復習に4時間の字捗を確保してください。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
将来、自身が関わるかもしれないE - ビジネスについて、主体的に考え、参加し、協議できるように、E - ビジネスの現象を捉えるだけでなく、課題と対策について論理的に説明するための知識を身につけることを目指した授業内容です。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
対面とオンデマンド授業の両方に対応する予定です。資料は、PDF等でRyuka Portalにアップロードします。オンデマンド授業には、視聴資料をRyuka Portalにアップロードする予定です。Ryuka Portal上の講義連絡・レポート課題を各自で確認し、レポートは所定の方法で期日を守って提出してください。				
実務経験の有無及び活用				
実務経験あり。企業における実務の実態を踏まえつつ、授業を進めます。				
備考				